



赤麻小だより

第25号

平成27年5月1日

発行所：栃木市立赤麻小学校校長室

平成27年度のスタートから早一か月。5月「皐月(さつき)」は早苗を植える早苗月(さなえづき)です。5月2日には八十八夜を迎え、稲の種蒔きや茶摘みを始める季節になりました。春らしくなったように感じたのも束の間、茶摘みの唄にあるように、夏が近づいていると感じる25度を超える真夏日もあり、子どもたちは休み時間になると、汗をかきながら半袖になって元気に遊んでいます。校庭の木々はいつの間にか鮮やかな緑を身にまとい、藤の花もきれいに咲きました。花壇のスズランは鈴のような白い花が咲き、優しい香りを放っています。

子どもたちは進級したことで、新たなめあてや目標に向かって、意欲的に学校生活を送っている様子が覗えます。子供たちなりの緊張したこの一か月、少しずつ疲れも出る頃ではないでしょうか。

2日から始まる大型連休には、ご家族で楽しく過ごしながらも健康に気をつけて、有意義な時間をお過ごしください。



授業参観、PTA総会お世話になりました

4月24日(金)、本年度初めての授業参観を行いました。それぞれに進級したお子さんの活躍ぶりをご覧いただけましたでしょうか。

PTA総会には、お忙しい中たくさんの保護者の皆様にご出席くださいました。続く学年懇談会も、短い時間でしたが有意義な話し合いができたことと思います。

PTA総会でお話させていただきましたが、平成27年度は栃木市教育委員会より指定を受けた学力向上推進研究校の2年目となります。昨年度より、子どもたちに「安心・自信・意欲」をもたせることを目指し、子どもたちの学習意欲の向上を図り、学力向上を目指すための学習指導について研究してまいりました。授業では学び合いを多く取り入れるよう、教師一人一人が研究テーマを決め、授業改善にも取り組んでいます。今年も、子ども同士の学び合いが深められるよう、研究を進めてまいります。子どもたちのよりよい成長のために、学校と家庭が連携協力して教育の充実に努めてまいりたいと思います。どうぞ、宜しくお願いいたします。

なお、PTA総会の前の10日(金)には、PTA新旧理事会を開催いたしました。役員さんが夜遅くまで熱心にご協議くださり、今年度のPTA活動の計画を立てていただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



合い言葉は
『あかまっ子』

あかまっこ
明るいあいさつ 響く学校
輝く笑顔が あふれる学校
まっすぐな心の 広がる学校
困難も不撓不屈で 頑張る学校

学校では、あいさつが響く毎日です。笑顔も輝き始めました。心豊かに不撓不屈の精神で、今年も頑張ります。宜しくお願いいたします。

PTA総会でもお伝えいたしましたが、合い言葉の「学校」づくりを目指しています。「家庭」「地域」にも置き換えてみていただければと思います。





子どもたちの活動から

《交通安全教室Part2！！》



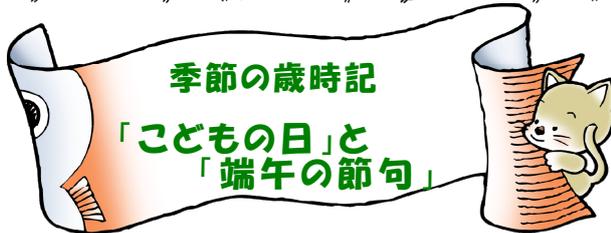
4月27日(月)に、ヤマト運輸の方による交通安全教室を実施いたしました。トラックによる巻き込みの実演、車がブレーキをかけても急には止まれない様子、運転席からの死角の確認など、子どもたちの体験活動も取り入れ、分かりやすく説明をしていただきました。常に交通安全については、学校でも指導を重ねておりますが、大型連休が始まり家や地域で過ごす時間も長いこの時期、子どもたちが交通事故や事件等に十分に気をつけて過ごせるよう、ご家庭でも注意喚起のお声かけをお願いいたします。

《2年生は上級生！！》



4月28日(火)に2年生は、生活科の学習で「1年生を迎えよう」という活動を体育館で行いました。1年生のために校歌を歌ったり、学校についての〇×クイズを出したり、ジャンケン列車でゲームをしたりと、楽しい活動を考えてくれました。説明やクイズの読み上げ等は、はっきりとした大きな声で行うことができ、1年生に楽しんでもらおうと一人一人が意欲的に活動に取り組む姿に、2年生の成長を感じました。1年生も歓声を上げたり拍手をしたりと、笑顔が絶えませんでした。

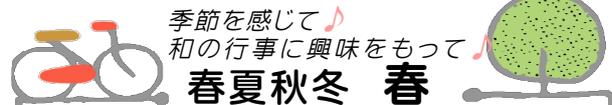
「笑顔あふれる学校」「まっすぐな心の広がる学校」を子どもたちは実践してくれています。



「端午の節句」は古代中国の菖蒲を使った邪気払いの行事が起源だそうです。日本には奈良時代に伝わったようです。昭和23年には男女の別なく、子どもの幸せを願う「こどもの日」になったそうです。

「こどもの日」には、健康と無病息災で過ごせるよう、豊かな香りや薬草としての働きのある菖蒲湯に入り、新しい葉が出るまで古い葉が落ちない柏の葉で包んだ柏餅を食べ、健やかな成長と子孫繁栄を願いましょう。

家族みんなで幸せを願う文化を楽しみ、親子の絆を深めてみてはいかがでしょうか。



昨年は、暮らしの中に伝わる季節や言葉、詩等を、学校だよりに載せて、少しだけお届けしておりました。今年は、日本に伝わる四季折々の年中行事をとおして、日本の心や知恵を子どもたちに伝えていきたいと考えております。二十四節気・七十二候・雑節・節句・年中行事・暮らしの作法・祭りやあそびなど、たくさん考えられますが、ほんの少しでも、子どもたちが季節を感じてくれたら…、和の行事に興味をもち日本の文化や伝統は素敵だと感じてくれたら…、と思うのです。

激しく変動し多様化する社会に生きていく子どもたちだからこそ、季節の行事の中に、日本の美しい四季のうつろいを確かめ、楽しんでほしいと願うのです。

